

自然と共生する 安全・安心な川づくり計画

多自然
川づくり

多自然川づくりについて

近年、記録的な豪雨により、全国で河川堤防の決壊や洪水の氾濫等による深刻な被害が頻発し、河川改修などのハード対策や避難・減災に役立つソフト対策が一層重要となっています。

また、河川は豊かな自然と水辺に恵まれた動植物の貴重な生息空間であり、美しい景観、うるおいとやすらぎ、歴史や文化を感じられる河川環境の保全にも国民の関心が増大しています。

当社では、ハード・ソフトが一体となった治水対策の調査・計画・設計はもちろんのこと、多様で豊かな河川環境の保全や創出に配慮しながら、安全・安心な生活を確保する「多自然川づくり」について、豊富な実績と技術で提案します。

多自然川づくりの技術

■ 子どもが遊び、大人が安らげる水辺空間

「中小河川に関する河道計画の技術基準」を先取りして計画・施工された川づくりの事例です。人が川に近づきやすく、生物にも配慮して水の流れには変化を持たせるとともに、景観になじみやすい素材を活用するなど、様々な取り組みを提案します。



■ 地域住民との協働による多自然川づくり

住民協働による川づくり事業の事例です。いい川づくりには、地域住民の力が欠かせません。河川環境だけでなく、地域の暮らしや歴史・文化と結びついた川づくりの実現を目指し、住民や行政などの川づくりに関わる各主体の最適なコーディネートを提案します。



河川景観デザイン

■ 歴史的な景観の保全に配慮した桜堤整備

市民の皆様が親しまれる安全な川にするため、歴史的な景観の保全に配慮した桜堤整備の事例です。治水安全性の確保と歴史的な景観の保全・継承の観点から、地域に調和した川づくりを提案します。また、景観検討や市民の合意形成のプレゼンテーションツールとして、イメージパースや模型等の活用についても提案します。



魚が上りやすい川づくり

■ 河川魚道の機能回復事業

堰や砂防ダムに設置された魚道では、洪水や転石等の影響による機能低下が課題となっています。河川の連続性を確保することで水生生物がすみやすい河川環境を創出するため、長く魚道の状態を適切に保つことができる魚道補修や整備手法を提案します。また、岐阜県自然共生工法研究会 魚道ワーキンググループや岐阜県フィッシュウェイ・サポーターに参加し、魚道の機能回復手法の研究や岐阜県の機能回復事業の支援活動にも積極的に取り組んでいます。



補修前の魚道



補修後の魚道

自然共生川づくりの研究

■ 環境に配慮した新たな落差対策施設の研究

岐阜県では、水と緑があふれ、安全で安らげる川づくりを推進するため、北派川において自然と共生した川づくりの研究に取り組んでいます。当社では、「環境に配慮した新たな落差対策施設」の研究のため、実河川における実験落差工の設計、事前モニタリング業務を通じて、自然共生川づくりの研究、広報活動等を支援しています。



自然石分散落差工



連結自然石落差工

主な業務実績

年度	業務内容	発注者	摘要
H26	大間見川における希少種に配慮した魚道の修繕設計	岐阜県 郡上土木事務所	
H26	北派川における自然共生工法実証実験検討業務	岐阜県 岐阜土木事務所	
H25	飛鳥川ベストリバー事業における魚道整備設計	岐阜県 揖斐土木事務所	
H25	宮川桜堤の歴史と景観に配慮した堤防改修設計	国土交通省 三重河川国道事務所	
H22	竹原川ベストリバー推進グループ活動の支援業務	岐阜県 下呂土木事務所	
H22	梅谷川、片山トンネルピオトープにおける自然共生川づくり	岐阜県 大垣土木事務所	
H21	長良川床上浸水対策特別緊急事業におけるベストリバー事業	岐阜県 岐阜土木事務所	
H21	北派川における自然共生川づくり	岐阜県 岐阜土木事務所	
H19	木曽川下流部における干潟とヨシ原の自然再生実施設計	国土交通省 木曽川下流河川事務所	優良業務 局長表彰